

龍郷町立龍北中学校 ～島ユムタ伝承活動～



奄美大島の各地域で古来より使われている方言は、古事記や万葉集に出てくる古語が今も使われ、発音にも大きな特徴がある。奄美大島では、「シマグチ」「シマユムタ」「シマクトウバ」と呼ばれている。このシマユムタを流暢に話せるのは、今やお年寄りや限られた人たちとなっており、未来を担う若者たちへの伝承が重要な課題である。

本校区には、安木屋場（あんきやば）、円（えん）、嘉渡（かど）、幾里（いくさと）、秋名（あきな）の5つの集落があり、方言は少しずつ違っている。それぞれの集落の伝統行事を題材とした劇のシナリオを作り、それをシマグチで演じている。まず、各集落にある伝統行事を題材に生徒がオリジナルの劇（年度ごとに取材する集落が変わる）をつくる。その際、伝統行事について詳しい、各集落の高齢者（生徒が直接取材を行う。さらに、取材をもとに生徒が作成したシナリオを、島ユムタ校外活動として、各集落の公民館にて、老人クラブの方々と指導者に招き、シマグチのシナリオに直していただく。このような活動については、事前に各集落区長や老人クラブ会長と連携を図り、指導者を紹介している。